

くすやま美紀(樟山みき)活動報告



2018. 4. 4 NO. 219

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170
区議会控室 3312-2111(内)2319

教室不足でトイレも図書室も犠牲に

天沼小の児童数・学級数の推移

年度	児童数	学級数	児童数 前年度比
2017	575	20	+17
2016	558	19	+32
2015	526	17	+45
2014	481	15	+13
2013	468	15	+50
2012	418	14	+31
2011	387	14	+20
2010	367	13	-13
2009	380	13	

(新校舎移転は2011年1月)

日本共産党区議団は、区議会定例会予算特別委員会で、児童数の増加で深刻な教室不足が発生している天沼小学校の問題を取り上げました。

区の失策 児童数大幅増!

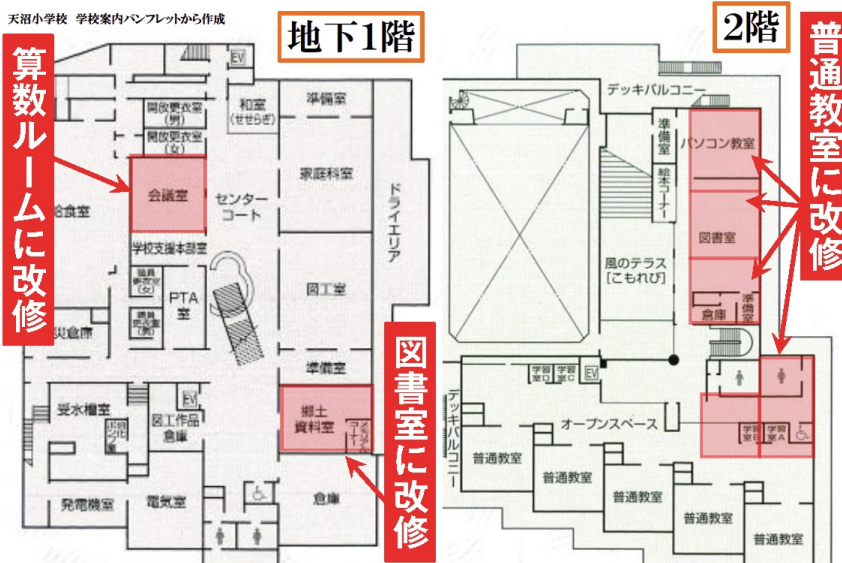
天沼小学校は、若杉小と杉並第五小の児童数減少を理由に、2校を統廃合して2008年に開設されました。区は、開設時の児童数を408人、学級数を13と予測。2011年1月(2010年度)の新校舎移転の際には普通教室を15整備しました。ところが、児童数増加により、新校舎開設からわずか5年で普通教室不足が発生。その後も児童数は増え続け、2017年度には児童数575人、学級数は20まで増加。その結果、特色ある図書室や特別教室、さらにはトイレ、廊下まで普通教室に転用せざるを得ない事態となりました。

「児童数は今後伸びようがない」などとした区の児童数減少予測が、実態と大幅にズレたことが要因であり、区の失策です。

党区議団は「統廃合は山田前区政時代に進められたものだが、新設校でありながら、わずか5年足らずで追加工事を余儀なくされ、児童に不便をかけるようなことがあってはならない。これを教訓に、今後の人口推計、児童数予測を見直すとともに、拙速な学校や施設の統廃合計画は見直すべき」と追及。答弁に立った学校整備部長は「10年以上前の状況と現在の状況は違う」と等と開き直り、問題を真摯に受け止める姿勢は見られませんでした。

日本共産党区議団は、学びの環境整備のために今後も力を尽くします。

新校舎開設から8年間で6室増の大幅改修



2014年度	15年用 2階図書室(一部)改修	1室増
2015年度	3階算数教室を転用	1室増
2016年度	16年用 2階図書室(一部)とパソコン室改修	2室増
2017年度	17年用 2階トイレの一部と廊下の一部改修	1室増
2018年度	18年以降用 3階トイレの一部と廊下の一部改修	1室増

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

区政の私物化！？ 区長と一部議員の思惑によるビーチコート建設



ビーチコート イメージ図

田中区政は、区民の大切な財産である区立施設を次々と廃止、削減する一方、区民から要望も出ていないのに、ビーチコート建設工事を進めています。

区は「ビーチバレーボールの競技人口は潜在的にはかなりの人数がいると考えている」「これから多くの人に利用されると期待できる」等と言っています。が、区民からは、今なお「なぜ杉並にビーチコートなのか」などの声が広がっています。

調査・検討せず 不透明な意思決定過程

スポーツ振興は、区の大切な役割ですが、ビーチバレーは、

区内に競技団体はなく競技人口も不明。そのうえ、設置場所は住宅街の一角で、整備しても多数の区民が利用するのか、負の遺産にならないか等、しっかりとした調査・検討が必要でした。

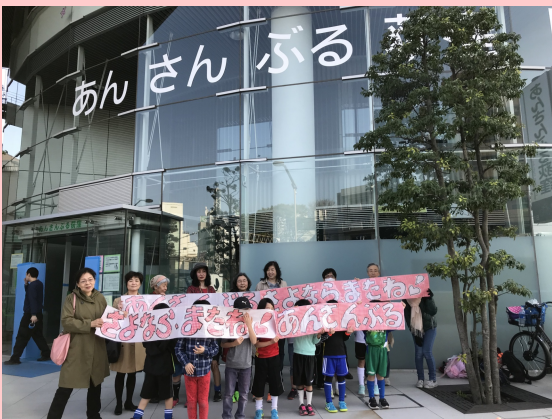
しかし、党区議団が開示請求した資料には、調査・検討を行った記録は何もなく、意思決定の経過の不透明さが改めて浮き彫りになりました。

条例の理念からも逸脱

そもそも、ビーチコート整備は、区長が杉並区議会スポーツ議員連盟からの要望を受け計画化したものです。

党区議団は、まともな調査検討も行わず、区長と一部議員の思惑によって計画を進めることは、「区民等が政策の立案から決定・評価に至るまでの過程に主体的に参加し、意思決定に関わる」とされている杉並区自治基本条例や「公平性の確保と透明性の向上」を定めた行政手続条例の理念からも逸脱していると批判しました。

さよなら またね あんさんぶる！



田中区長の強引な手法によって税務署に転用されることとなり、3月いっぱいまで廃止となった「あんさんぶる荻窪」。

31日、児童館を利用していた子どもたちや住民があんさんぶる前に集合。「さよなら またね あんさんぶる」と書かれた幕を手元に別れを惜しみました。

多くの会派が区長言いなり 共産党はチェック機能を発揮し奮闘！

区議会第1回定例会は3月15日に閉会しました。今議会で、日本共産党区議団は、区長の強権的な政治運営や私物化の実態を告発し、是正を求めました。特に、公用車を使用して選挙応援に行っていたことを追及した質疑は、多くのマスコミが報道しました。

深刻化する区長の暴走に対し、議会では、自民、公明、未来から、いのち平和まで多くの会派が区長追従です。

議会の役割は、区長の政治運営のあり方、税金の使い方をチェックすることです。日本共産党は、その姿勢を堅持し、今後も区民のくらしを守り、区民の声が生きる区政への転換を求め、全力を尽くします。